

# 施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	033	ごみ減量化・資源化の推進			
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署
	基本施策	04	循環型社会の形成		
めざす姿	ごみの減量や資源化を推進し、環境負荷の低い循環型社会が形成され、ごみの発生が抑制されています。				

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	167,276,000	156,650,000	152,508,000	153,887,000	171,972,000	135,120,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,821,000	1,584,000	1,786,000	1,962,000	1,970,000	1,970,000
一般財源	154,455,000	155,066,000	150,722,000	151,925,000	170,002,000	133,150,000
予算現額	167,276,000	156,172,000	152,501,000	153,913,000	171,972,000	0
決算額	144,757,156	143,070,104	139,703,615	141,620,863	157,023,858	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	14,983,514	1,912,566	2,004,706	1,805,923	1,695,384	0
一般財源	129,773,642	141,157,538	137,698,909	139,814,940	155,328,474	0
執行率	86.5	91.6	91.6	92.0	91.3	0.0
<b>(人件費)</b>						
職員数	12.79	13.42	18.79	17.70	23.04	0.00
職員人件費	102,222,387	102,176,592	146,397,456	137,927,303	176,984,617	0
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	0
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	3,761,806	5,526,114	5,122,171	8,738,338	7,900,197	0
総コスト	250,741,349	250,772,810	291,223,242	288,286,504	341,908,672	0

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	91.6	実績	74.4	73.1	72	71.9	93
	%	達成率	80.0	78.6	77.4	77.3	
市民1人当たりのごみ・資源の排出量	645	実績	633	631	617	608	595
	g/日	達成率	94.0	94.3	96.4	97.9	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合については、平成26年度から市民意識調査のアンケートが3択式から6択式に変わったため、基準値より実績が低くなっている。

## 4 施策の進ちよく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちよく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
達成できている点	市民1人当たりのごみ資源の排出量については前年比-12gとなった。	市民1人当たりのごみ・資源の排出量は、基準値から-14gとなった。	市民1人当たりのごみ・資源の排出量は、基準値から-28gとなった。	
達成できていない点	ごみ減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合は、調査内容が変わったことにより大幅に減少した。	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合が、前年比1.3ポイント下がった。なお、基準値からの大幅な減少は前年の理由のとおり。	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合が、前年比1.1ポイント下がった。なお、基準値からの大幅な減少は前年の理由のとおり。	市民1人当たりのごみ・資源の排出量は、基準値から-37gとなった。ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合が、前年比0.1ポイント下がった。

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から、3R施策を進めるという明確な意思を示すことから「リサイクル係」を「3R推進係」とした。</li> <li>ごみ減量・3Rの推進については、広報やごみ新聞、3R通信による啓発及び自治会説明会や街頭キャンペーンなど積極的なPR活動を行ったほか、新たに食品ロス等の関する情報紙「エコレシビのすゝめ」を発行した。</li> <li>市・産学官・農家の方との協働・連携により、給食残渣を活用した生ごみ資源循環モデル事業を行い、一定の成果が得られたことを受け、これまでの給食残渣から、自治会との協働連協による、家庭ごみの生ごみ資源循環モデル事業に切り替えて実施した。</li> <li>昨年に引き続き、府中市ごみ減量等推進市民会議を開催した。</li> <li>平成28年度、平成29年度の2年間で府中市一般廃棄物処理基本計画について見直しを行うため府中市廃棄物減量等推進審議会を設置し、新たな計画を策定した。</li> </ul>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ごみ減量・3Rの取組を展開してきたところではあるが、ごみ改革から数年が経過したことから、今一度市民・事業者には、ごみの分別やごみ減量・3Rの推進の必要性について再確認していただく必要があること、また、景気の動向や消費税の動向により、ごみ量は変化していくと考えられるため、より一層のごみ減量・3Rへの意識向上を図る必要がある。</li> </ul>
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、府中市ごみ減量等推進市民会議の意見やアイデアを施策に反映させる。</li> <li>事業者に対して店頭回収の推進・レジ袋の削減や過剰包装の抑制などを働きかける。</li> <li>ごみ減量・3Rに関する啓発事業を積極的に展開し、特にリデュース・リユースの意識向上を図っていく。</li> <li>事業所等と協働で食品ロス対策に取り組む。</li> </ul>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
集団回収推進事業	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。
【進捗状況】	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
所管部署	生活環境部	生活環境部	生活環境部	生活環境部
事業種別	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課
主要な事務事業	実施団体数は微増となったが、新聞を取らない世帯の増加などもあり、微減であった。	実施団体数は、集合住宅は増えたが、子供会・老人会が減ったため横ばい。回収量も缶は増えたが、新聞・びんが減り、全体としては横ばい。	実施団体数としては、子供会などが微減となったが、自治会が増えたため全体としては微増であった。また、回収量は缶が微増、新聞・古紙・古布が減少し、全体としては減少となった。	実施団体数としては、その他団体が微減となったが、自治会が増えたため全体としては微増であった。また、回収量は缶が微増、新聞・古紙・古布が減少し、全体としては減少となった。
4か年事業費計(単位:千円)	379,748			
ごみ減量運動啓発事業	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	生活環境部	生活環境部	生活環境部	生活環境部
事業種別	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課
主要な事務事業	ごみ減量推進大会の実施を始め、街頭キャンペーンなど市民の方々と共にごみ減量の意識啓発を行った。	イベントやキャンペーンでの啓発活動に加えて、広報ふちゅうやテレビ広報「まごごご」府中、ごみ新聞「府中のごみ」、3R通信などにより、市民に広く啓発活動を行なった。	基本的なごみの出し方や分別を交えつつ、3Rの取組みについて啓発を行った。また、発行物などの内容とイベントなどでの啓発内容に連動性を持たせ、より厚みのある啓発活動を実施した。ごみ減量・3R推進大会及び住民説明会の参加者数は昨年度より増加した。	4カ国語対応のごみ・資源物分別ガイドブックや啓発用DVDを作成しごみ減量の啓発を広く行った。
4か年事業費計(単位:千円)	157,268			
生ごみ資源有効活用推進事業	生ごみ資源循環型モデル事業の最終年度であることから、事業終了後の展望を検討し、併せて本事業の報告書を作成する。	家庭生ごみの減量に向け、生ごみ処理機「キエーロ」の個人モニター制度を実施する。また、団体向けには機械式大型生ごみ処理機及びキエーロを利用した検証事業を展開する。	個人・団体向けキエーロ検証事業について、報告書を作成し、次年度以降の施策を検討する。また、機械式大型生ごみ処理機の検証を引き続き実施するとともに今後の展望をまとめる。	検証結果を踏まえ、生ごみに資源化及び減量化施策を実施する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
所管部署	生活環境部	生活環境部	生活環境部	生活環境部
事業種別	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課	ごみ減量推進課
主要な事務事業	主にモデル事業終了後の展望について、委員会・作業部会でまとめ、委員長より市長への提言をした。また、最後までトラブルを起こすことなく、安全に資源化装置の運転を終了した。	個人・団体向け「キエーロ」モニター検証事業を実施した。また、自治会との協働により、資源化装置によるモデル事業を実施した。	家庭系食品残渣からたい肥を生産する点に関しては成功したが、装置の故障等により、実施方法の修正を余儀なくされた。今後の方向性については29年度以降も引き続き検討を行う。	検証結果を踏まえ、ごみ減量化処理機器購入補助事業の補助率や上限額を引き上げたところ、前年度より利用者が大幅に増加した。
4か年事業費計(単位:千円)	12,516			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 清掃関連広域連携事業	30		155,000	155,000	155,000	全国都市清掃会議運営費及び三多摩清掃施設協議会運営会費	B	1
2 集団回収推進事業	30		79,835,000	71,699,162	72,723,000	ごみ減量及びリサイクル活動の推進のため、資源物回収を行う。	B	1
3 ごみ減量運動啓発事業	30		16,492,000	12,498,676	14,646,000	ごみ減量の啓発	B	1
4 リサイクル推進事業	30		62,414,000	60,979,912	38,015,000	粗大ごみから出た家具などを再生し、リサイクルの推奨を行う。	B	1
5 地域ごみ対策推進事業	30		564,000	617,027	612,000	地域住民のごみ減量とリサイクル推進活動	B	3
6 ごみ排出指導事業	30		5,769,000	4,886,790	5,969,000	ごみ排出事業	B	1
7 ごみ減量化処理機器購入補助事業	30		3,000,000	2,617,500	3,000,000	ごみ減量化処理機器購入費補助金交付	B	1
8 一般廃棄物処理基本計画策定事業	10		3,743,000	3,569,791	0	一般廃棄物処理基本計画の策定	D	3
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			171,972,000	157,023,858	135,120,000			

# 施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	034	ごみの適正処理の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署	生活環境部 ごみ減量推進課
	基本施策	04	循環型社会の形成			
めざす姿	ごみの収集・中間処理・最終処分の各段階において適正な処理を推進することにより、施設の延命化が進んでいます。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	3,637,696,000	3,549,660,000	3,587,853,000	3,324,433,000	2,995,846,000	3,005,345,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	172,900,000	205,300,000	163,000,000	163,000,000	163,000,000	163,000,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,039,506,000	1,028,624,000	1,061,560,000	1,047,969,000	1,051,903,000	1,042,234,000
一般財源	2,425,290,000	2,315,736,000	2,363,293,000	2,113,464,000	1,780,943,000	1,800,111,000
予算現額	3,642,894,000	3,564,573,000	3,586,603,000	3,324,433,000	2,995,846,000	0
決算額	3,627,768,414	3,542,007,806	3,576,830,232	3,312,543,945	2,975,404,318	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	170,639,000	189,125,000	171,742,000	227,552,000	196,084,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,063,353,675	1,065,329,494	1,061,165,633	1,029,003,609	1,037,691,861	0
一般財源	2,393,775,739	2,287,553,312	2,343,922,599	2,055,988,336	1,741,628,457	0
執行率	99.6	99.4	99.7	99.6	99.3	0.0
<b>(人件費)</b>						
職員数	30.21	30.58	19.21	19.30	13.79	0.00
職員人件費	241,449,437	232,828,628	149,669,778	150,395,308	105,929,595	0
嘱託員数	3.00	3.00	2.00	1.00	1.00	0.00
嘱託員人件費	9,714,231	10,052,169	6,538,966	3,217,657	3,120,400	0
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	9,767,797	13,827,645	5,781,875	10,021,946	5,060,928	0
総コスト	3,888,699,879	3,798,716,248	3,738,820,851	3,476,178,856	3,089,515,241	0

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
最終処分場への搬入量	1,954	実績	1,458	1,415	3,893	4,566	1,800
	t	達成率	123.5	127.2	46.2	39.4	
市民1人当たりの多摩川衛生組合への搬入量	465	実績	460	455	445	443	430
	g/日	達成率	93.5	94.5	96.6	97.1	
市民1人当たりのリサイクルプラザへの搬入量	146	実績	142	143	140	136	135
	g/日	達成率	95.1	94.4	96.4	99.3	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

最終処分場への搬入量については、スラグ化・メタル化の廃止に伴い、搬入量が増加した。

## 4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	最終処分場への搬入量は目標値を下回っている。リサイクルプラザへの搬入量は基準値よりも下げることができ、目標値に近づきつつある。	最終処分場への搬入量は基準値を- 5.39 tとなっており、目標値も下回っている。	多摩川衛生組合への搬入量は、基準値から- 2.0 gとなっており、目標値に近づきつつある。リサイクルプラザへの搬入量は基準値から- 6 gとなっており、目標値に近づきつつある。	リサイクルプラザへの搬入量は基準値から- 1.0 g、目標値に対し99.3%でほぼ達成することができた。
達成できていない点	多摩川衛生組合への搬入量をもう少し減少させる必要がある。	多摩川衛生組合への搬入量は、減少傾向にあるが、計画年度中に目標値に届くには厳しい状況となっている。リサイクルプラザへの搬入量は基準値からは- 3 gだが、前年度からは横ばいで、目標値に近づけなかった。	最終処分場への搬入量は、スラグ化・メタル化の廃止に伴い搬入量が増加したため、計画年度中に目標値に届くには厳しい状況となっている。	最終処分場への搬入量は、スラグ化・メタル化の廃止に伴い搬入量が増加したため、目標達成に至らなかった。多摩川衛生組合への搬入量については、汚れた容器包装プラスチックを「燃やせないごみ」から「燃やすごみ」に変更したため、目標達成に至らなかった。

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>最終処分場への搬入量については、焼却灰のスラグ化やメタル化の廃止に伴い増加している。</li> <li>廃棄物収集運搬事業については、定期的なミーティングを行い、安定的かつ効率的で適正な収集運搬が行えるよう努めている。また、平成27年度から収集車両にAEDを搭載し、協働のまちづくり及び安全安心なまちづくりに寄与している。なお、平成28年度のAED使用実績はなし。</li> <li>リサイクルプラザでは、平成27年度よりガラス・陶磁器類の再資源化処理を開始した。</li> <li>処理の効率化、及び不適物混入による火災等の事故防止のため、汚れた容器包装プラスチックを「燃やさないごみ」から「燃やすごみ」へ変更し、小型充電式電池類を「危険ごみ」としての回収を開始した。</li> </ul>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩川衛生組合での焼却灰のスラグ化の廃止に伴い、最終処分場への焼却灰の搬入量が増加したことによる負担金の増加が必至である。</li> </ul>
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> <li>燃やすごみを焼却している多摩川衛生組合の運営について他の構成市とも連携しながら、安定的かつ効率的な運営に努める。</li> <li>更なる再資源化品目の追加や処理方法を研究する。</li> </ul>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
廃棄物収集運搬事業	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	排出ルールに基づき各中間処理施設へ搬入している。	定期的に行われているミーティングなどにより、情報交換を行い、安定的、効率的で適正に中間処理施設へ搬入している。	定期的に行われているミーティングなどにより、情報交換を行い、安定的、効率的で適正に中間処理施設へ搬入している。	定期的に行われているミーティングなどにより、情報交換を行い、安定的、効率的で適正に中間処理施設へ搬入している。
生活環境部 ごみ減量推進課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
多摩川衛生組合管理運営事業	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	他の構成市とも連携しながら安定的な運営を行っている。	他の構成市と連携し情報共有しながら、安定的な運営を行っている。	他の構成市と連携し情報共有しながら、安定的な運営を行っている。	他の構成市と連携し情報共有しながら、安定的な運営を行っている。
生活環境部 ごみ減量推進課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
リサイクルプラザ管理運営事業	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めた。	搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めた。	搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めた。	搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めた。
生活環境部 ごみ減量推進課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 廃棄物収集運搬事業	10		1,588,291,000	1,587,060,098	1,596,793,000	廃棄物（資源）の収集運搬	B	1
2 へい死犬猫処理事業	10		4,481,000	3,127,632	3,668,000	へい死犬猫の収集運搬	B	1
3 リサイクルプラザ管理運営事業	20		474,527,000	456,705,158	431,202,000	府中市リサイクルプラザの管理及び運営	B	1
4 ごみ処理施設等運営事業	10		296,888,000	296,852,430	409,301,000	焼却・し尿処理施設承継事務及び最終処分施設運営負担金	B	1
5 多摩川衛生組合管理運営事業	10		631,659,000	631,659,000	564,381,000	中間処理施設運営負担金	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			2,995,846,000	2,975,404,318	3,005,345,000			